

第三セクターの経営情報について

資料3

令和3年8月5日

港湾空港局港営課

報告対象団体		小倉国際流通センター株式会社	
会社概要	会社の事業概要	不動産（高度化倉庫）の賃貸業 〔 所有施設の概要 営業開始：平成12年9月1日 規模：延床面積14,596㎡ 構造：鉄骨造2階建 〕	
	資本金額	465,000	千円
	本市の出資額	20,000	千円
	本市の出資割合	4.3	%
	従業員数	1	人
営業報告の要点		小倉国際流通センターを運営し、テナント3社に倉庫貸付を行った。 引き続き、経費の削減に努め、老朽化した倉庫内設備の改修に重点を置き、設備の健全な維持管理を図っていく。 当期の売上高は、77,948千円（前期比 ±0千円）となった。	
収支状況の要点	当期純利益	4,834	千円
	前年度との比較	○営業利益は、10,132千円で、前期比 6,489千円の増益（+178.1%）となった。 ○経常利益は、10,133千円で、前期比 6,489千円の増益（+178.1%）となった。 ○当期純利益は、4,834千円で、前期比 308千円の増益（+6.8%）となった。	
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）		
繰越利益剰余金		42,799	千円
監査報告		監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。	
株主総会 （令和3年6月23日開催）	議案	（1）決議事項 第1号議案 第24期(令和2年度)営業報告について 第2号議案 第24期(令和2年度)決算報告について 第3号議案 第25期(令和3年度)事業計画(案)について 第4号議案 取締役辞任による取締役選任について 第5号議案 監査役辞任による監査役選任について いずれの議案も異議なく承認可決	

（令和3年3月31日現在）

第 2 4 回

定 時 株 主 総 会

令和 3年 6月 23日
於 小倉港湾労働者休憩所

小倉国際流通センター株式会社

目 次

第 1 号議案	第 24 期（令和 2 年度）営業報告について	… 1～4
第 2 号議案	第 24 期（令和 2 年度）決算報告について	… 5～11
第 3 号議案	第 25 期（令和 3 年度）事業計画（案）について	… 12～15
第 4 号議案	取締役辞任による取締役選任について	… 16
第 5 号議案	監査役辞任による監査役選任について	… 17

第1号議案

第 24 期

営 業 報 告 書

自：令和 2 年 4 月 1 日
至：令和 3 年 3 月 31 日

小倉国際流通センター株式会社

— 1 —

1 営業報告

(1) 営業概況

平成12年9月1日に営業を開始し、21年目を迎えた今期、483万円の純利益（税引前で889万円）を計上した。内 建物及び設備の老朽化に伴う修理費用の増加を見込み、年間360万円の修繕引当金を計上し、27年度からの6年間にて累計1,820万円の修繕引当金の残高となった。又 喫緊の課題で有った垂直搬送機の老朽更新は2,670万円の設備投資を行い令和3年3月末に予定通り更新工事を完工した。

(2) 営業方針

「収益向上の事業運営と今後の経営方針の確立」

(3) 主要な事業概要

不動産の賃貸業

北九州港における物流機能の整備についての調査及び研究に関する業務

北九州港への航路誘致、集荷のための情報収集、調査及び研究に関する業務

前各号に付帯または関連する一切の業務

2 令和2年度経営課題の総括

(1) 確実な設備点検による修理費の軽減と今後の課題

大型重量シャッター（高さ3.200m・幅10.000m）はメーカーによる点検・診断を行い異音除去調整や診断で判明した緊急性が必要な部位の補修を実施した。今後は更新した垂直搬送機を含め定期的な点検を行い状態監視による保守管理に努める。

一方平成30年に、「北九州市次世代エネルギー設備導入促進事業における補助金制度」を活用して倉庫（水銀灯）・事務所（蛍光灯）等510台の照明をLED器具に交換したが、電力削減率は平成29年度対比で40.1%となり、電気料金は年間約248万円の費用減となった。

今後も、設備の維持管理を行い、計画的な倉庫内機械設備の保守を進めていく。

(2) 稼働率向上に向けた倉庫利用者への協力要請

引き続き顧客へ尽力をお願いした。

3 総務の概況

(1) 総会及び取締役会開催

令和 2年4月27日

第77回 取締役会

- 第23期決算書類案の承認

令和 2年5月29日

第78回 取締役会

- 第23回株主総会 決算書類の承認
- 総会付議議案の決定

令和 2年6月18日

第23回定時株主総会

- 第23期決算報告及び損失処理案承認の件
- 取締役任期満了による取締役選任の件

令和 2年6月18日

第79回 取締役会

- 代表取締役社長の選任について
- 今後の課題と取組について

(2) 登記に関する事項

令和 2年6月18日

役員に関する事項

(取締役任期満了に伴う就任)

取締役	鶴丸俊輔	重任
取締役	徳光昌己	重任
取締役	山田康一朗	重任
取締役	黒沢崇	重任
取締役	東田重樹	重任
取締役	深江昭一	新任

代表取締役に関する事項

(代表取締役任期満了に伴う就退任)

代表取締役 鶴丸 俊輔 就任
代表取締役 徳光 昌己 退任

4 会社の概況

(1) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 10,000株
- ② 発行済株式総数 9,300株
- ③ 当期末株主総数 11名
- ④ 株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社上組	1,600	17.20
山九株式会社	1,600	17.20
鶴丸海運株式会社	1,600	17.20
日本通運株式会社	1,600	17.20
山田港運倉庫株式会社	1,600	17.20
日鉄物流八幡株式会社	400	4.30
北九州市	400	4.30
株式会社三菱UFJ銀行	400	4.30
株式会社福岡銀行	30	0.33
株式会社みずほ銀行	30	0.33
株式会社西日本シティ銀行	40	0.44
合計	9,300	100.00

(2) 従業員の状況

	従業員数	備考
男子	1名	但し、業務委託先職員
女子	0名	
合計	1名	

(3) 企業結合の状況…特に該当なし

(4) 長期借入金の返済状況と借入残高…なし

貸 借 対 照 表

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	131,451,679	【流 動 負 債】	33,592,849
現金預金	116,852,409	未払金	30,049,049
売掛金	14,230,570	未払法人税等	3,543,800
未収消費税等	338,700	【固 定 負 債】	18,200,000
【固 定 資 産】	428,110,605	修繕引当金	18,200,000
【有形固定資産】	427,945,501		
建物	997,372,574		
建物附属設備	121,130,000	負 債 合 計	51,792,849
構築物	35,782,000	純 資 産 の 部	
機械装置	55,586,000	【株 主 資 本】	507,799,435
工具器具備品	1,354,000	【資 本 金】	465,000,000
減価償却累計額	△783,279,073	【利 益 剰 余 金】	42,799,435
【無形固定資産】	145,070	(その他利益剰余金)	(42,799,435)
電話加入権	145,070	繰越利益剰余金	42,799,435
【投資その他の資産】	50,034		
長期前払費用	50,034	純 資 産 合 計	507,799,435
資 産 合 計	559,592,284	負 債 ・ 純 資 産 合 計	559,592,284

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

(単位:円)

科 目	金	額
【売 上 高】		
売 上 高	77,948,592	77,948,592
売 上 給 利 益		77,948,592
【販売費及び一般管理費】		67,816,068
営 業 利 益		10,132,524
【営業外収益】		
受 取 利 息	879	
雑 収 入	137	1,016
経 常 利 益		10,133,540
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	1,247,042	1,247,042
税引前当期純利益		8,886,498
法人税、住民税及び事業税		4,052,432
当 期 純 利 益		4,834,066

販売費及び一般管理費

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
福 利 厚 生 費	86,656	
旅 費 交 通 費	19,029	
通 信 費	100,132	
租 税 公 課	8,163,900	
消 耗 品 費	23,417	
事 務 用 品 費	26,452	
修 繕 費	1,676,001	
保 険 料	200,133	
支 払 手 数 料	33,150	
減 価 償 却 費	32,450,205	
外 注 労 務 費	3,300,000	
水 道 費	122,349	
電 力 費	3,369,286	
地 代 家 賃	10,171,624	
諸 会 費	6,000	
修繕引当金繰入	3,600,000	
雑 費	1,467,734	67,816,068
合 計		67,816,068

株主資本等変動計算書

自 令和 2年 1月 1日
至 令和 3年 3月 31日

(単位：円)

	株主資本										純資産合計	
	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	除主資本 合計				
	資本金	資本準備金	資本剰余金 その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金						利益剰余金 合計
当損前残高	465,000,000						37,465,364				502,465,364	
当期変動額						37,465,364						
当期末利益							4,834,066			4,834,066		4,834,066
当期変動額合計							4,834,066			4,834,066		4,834,066
当期末残高	465,000,000						42,299,430			407,799,430		507,799,430

個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物は定額法、その他は定率法を採用しております。

無形固定資産・・・定額法を採用しております。

2. 重要な引当金の計上基準

倉庫内物流関連機械装置修理に要する修繕費用の支出に備えるため、その発生見込額のうち当会計年度に負担すべき金額を計上しております。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当期末における発行済株式数

普通株式・・・9,300株

監 査 報 告 書

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第24期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告に関する議案および付属明細書を監査しました結果、適正かつ正確であると認めます。

令和 3年5月17日

小倉国際流通センター株式会社

監査役 榑 原 祥 浩



第25期 事業計画

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

小倉国際流通センター株式会社

1 令和3年度の財務及び施設運営方針

(1) 財務上の取り組み

令和2年度における純利益は483万円を計上することができ、今年度への繰越利益剰余金は4,280万円となっている。

令和3年度においては、資金余力を活かし老朽化した倉庫設備改修に重点を置き、設備の健全な維持管理を図っていく。

又 過去実績対比にて全設備510灯のLED照明化により年換算248万円のコスト削減が得られており、今後も効果の継続とコスト管理を図る。

(2) 施設管理・運営上の取り組み

ア 完成から22年が経過し、施設の老朽化や設備の故障が増加する傾向にある。特に倉庫作業に直結する主要設備である垂直搬送機においては、前年度に設備投資を行い老朽部の更新を完遂した。

平成3年度は、点検保守管理による各設備の状態監視を行い、長寿命化対策に向けた設備補修を予定する。

(主要設備・施設)

・エレベーター(構内リフト昇降)	1基
・垂直搬送機(入出庫製品の横移動と昇降)	3基
・ドックレベラー(エプロン上下調整)	7基
・倉庫エプロン重量シャッター(3.2m×10m)	11枚
・倉庫内重量シャッター	6枚

イ 稼働率100%を維持していくため、引き続き顧客確保の尽力をお願いしていく。

2 令和3年度予定損益計算書

(単位：円)

科 目	令和2年度 実 績	令和3年度 計 画	増 減
[売上高]	77,948,592	77,948,556	△36
[販売費及び一般管理費]	67,816,068	73,118,429	5,302,361
営業利益	10,132,524	4,830,127	△5,302,397
[営業外収益]	1,016	887	△129
受取利息	879	750	△129
雑収入	137	137	0
経常利益	10,133,540	4,831,014	△5,302,526
[特別利益]	0	3,300,000	3,300,000
修繕引当金戻入金	0	3,300,000	3,300,000
[特別損失]	1,247,042	0	△1,247,042
固定資産除却損	1,247,042	0	△1,247,042
[税引前当期純利益]	8,886,498	8,131,014	△755,484
[法人税等]	4,052,432	3,714,184	△338,248
当期純利益	4,834,066	4,416,830	△417,236
繰越利益剰余金	42,799,435	47,216,265	4,416,830

3 令和3年度予定一般管理費

(単位：円)

科 目	令和2年度 実 績	令和3年度 計 画	増 減
福利厚生費	86,656	40,000	△46,656
旅費交通費	19,029	25,000	5,971
接待交際費	0	0	0
通信費	100,132	110,000	9,868
租税公課	8,163,900	8,163,900	0
消耗品費	23,417	25,000	1,583
事務用品費	26,452	12,000	△14,452
賃借料	0	0	0
修繕費	4,676,001	5,584,000	907,999
保険料	200,133	200,133	0
支払手数料	33,150	33,150	0
減価償却費	32,450,205	36,872,622	4,422,417
外注労務費	3,300,000	3,300,000	0
水道費	122,349	125,000	2,651
電力費	3,369,286	3,400,000	30,714
地代家賃	10,171,624	10,171,624	0
修繕引当金繰入	3,600,000	3,600,000	0
雑費	1,467,734	1,450,000	△17,734
計	67,816,068	73,118,429	5,302,361

第 4 号議案

取締役辞任による取締役選任について

取締役 東田重樹 黒沢崇は、本総会終結をもって辞任致しますので、新たに取締役、2名を選出する。

なお、取締役候補は下記のとおりである。

役 職	氏 名	現在の主たる職業	所有する株式の数	当社との利害関係
取 締 役 (新任)	小石 裕洋	北九州市港湾空港局 港営部長	0	なし
取 締 役 (新任)	那口 洋	日本通運株式会社 ひびき海運支店 支店長	0	なし

第5号議案

監査役辞任による監査役選任について

監査役 榑原祥浩は、本総会終結をもって辞任致しますので、新たに監査役、1名を選出する。

なお、監査役候補は下記のとおりである。

役 職	氏 名	現在の主たる職業	所有する株式の数	当社との利害関係
監 査 役 (新任)	大 塩 航 也	日鉄物流八幡株式会社 物流営業部 小倉営業所 所長	0	なし